

2022年度事業報告及び会計報告

社会福祉法人八千代翼友福祉会

I. 事業報告

はじめに

「コロナ禍」3年目の今年度、とうとう大きな波が当法人にも押し寄せてき、友愛みどり園（もやい）で利用者・職員合わせて40人以上というクラスターが発生してしまいました。

また、放課後等デイサービス事業所では、休所にせざるを得ない事態が数回発生、この感染症の怖さを感じさせられました。

個々の対策では防ぎきれない「相手」ですが、それへの善後策（対応マニュアル）を一応整備していたため、大きな混乱なく収束させることが出来たのは幸いでした。

そのような中でも支援現場においては、「外」（地域）との関係では制限があるため、「内」（仲間）との関係を濃くするような取り組みや「個」に着目した試みが行われ、成果を出すことが出来ました。別冊各事業所の報告をご一読ください。

事業においては、要望の強かった6番目のグループホーム、「朋」を開所することが出来ました。

ただ、着手予定であったビータスの建て替えについては、設計の遅れにより次年度に先送りとなりました。

今年度だけの問題ではありませんが、職員の「確保」は大きな問題として現れました。新規事業への配置及び退職・休職者補充で多くの人員が必要となり、その対応に追われました。

福祉事業は本来、人間的な魅力ある仕事です。その魅力が薄くなっていないか、職場を点検し、また対外的にもその魅力を発信できるようにしたいと思います。

1. 中期計画の進捗状況等

「事業整備計画」については、1年遅れではありましたが、グループホーム第6棟の建設及びあごらの増築（支援員室）を実施しました。

ビータスの新築移転については、手続き及び設計の遅れから着手することが出来ませんでした。ただ、構想の中で「ギャラリー」を併設することとし、公益事業として今後生かしていくこととしました。

2. 利用者の状況及び運営（実践内容については別冊にて報告）

友愛みどり園

(1) 年齢別構成

年齢	19～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50歳以上
男性	1	2	1	8	4	8	7
女性	2	2	2	5	7	4	3
合計	3	4	3	13	11	12	10

平均年齢 男性 43歳 女性 40歳 平均 42歳

(2) 療育手帳別構成

	B2	B1	A2	A1	Ⓐ2	Ⓐ1	Ⓐ
男性	0	1	0	3	12	15	0
女性	0	3	1	5	10	6	0
合計	0	4	1	8	22	21	0

内てんかん 21名(男11名 女10名)

身体障害者手帳1種1級所持3名 2級所持5名 3級所持2名

(3) 障害支援区分

区分	6	5	4	3	2
男性	24	3	4	0	0
女性	18	4	3	0	0
合計	42	7	7	0	0

(4) 居住地

・八千代市 55名	・船橋市 1名
-----------	---------

利用率は91, 2%でした。

支援内容については、別冊「事業報告」で報告いたします。

作業収入は1, 140, 161円で、経費を除いた純利益は642, 984円でした。

一人当たり年間 11, 600円の「給料」を支払いました。

きざし

年齢別構成							
	19～24	25～29					
男性	0	7					
女性	2	1					
合計	2	8					
育手帳別構成							
		B1	A2	A1	Ⓐ1	Ⓐ2	Ⓐ
療育手帳	男性	0	0	4	3	0	0
	女性	0	0	2	0	1	0
	合計	0	0	6	3	1	0
障害支援区分							
	6	5	4				
男性	6	0	1				
女性	1	1	1				
合計	7	1	2				
居住地							
千代市在住		9名					
佐倉市在住		1名					

利用率は、94%でした。

ふくろう

常勤職員 3名体制（他に非常勤職員）

- ・移動支援事業

年間利用件数 271 件

- ・行動援護事業

サービス提供件数 731 件

今年度も「コロナ」の影響を強く受けた事業となりました。移動支援は、その行き先が制限され、工夫が要求されました。行動援護はこれまでも通院同行のニーズが多くありましたが、コロナワクチン・抗原検査等の違う意味での「コロナ」の影響を受け、更にニーズが高まりました。

ケアホームもやい

利用状況

① 365日に対して (%)

第1もやい	第2もやい	ゆい
99.9	97.6	85.5

第1緯	第2緯	朋
84.9	84.7	80.5

② 年齢別構成

	20代	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~9	60代	平均
男性	1	0	4	2	7	2	3	0	45.8歳
女性	0	0	2	2	2	0	2	1	48.4歳

全体 46.7歳

③ 障害支援区分

	6	5	4	平均	全体平均
男性	17	2	0	5.89	5.86
女性	7	2	0	5.78	

④ 重度支援対象者

男性	19人
女性	7人

つむぎ

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
成人：計画作成	2	7	1	1	11	7	8	7	12	5	3	4	68
成人：モニタリング	34	35	26	30	26	16	32	19	19	35	27	22	321
児童：計画作成	0	1	0	1	1	2	0	1	2	2	0	1	11
児童：モニタリング	1	4	2	1	1	1	2	2	1	2	2	1	20
合計(名)	37	47	29	33	39	26	42	29	34	44	32	28	420

あごら

利用状況

出席率 (%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
72	78	79	80	69	82	82	73	71	73	79	77	76

(1) 学年別構成 (名)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
男性	2	0	1	8	2	3
女性	1	1	0	0	0	0
合計	3	1	1	8	2	3

(2) 療育手帳別構成 (名)

療育手帳		B2	B1	A2	A1	Ⓐ
	男性	2	2	0	5	6
	女性	2	0	0	0	1
	合計	4	2	0	5	6

内てんかん 3名

身体障害者手帳 (1級3名、2級1名)

精神障害者保健福祉手帳 (3級1名)

療育手帳未所持者 3名

ビータス

(1) 出席率 (%)・人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
出席率	98	92	89	91	98	91	87	82	88	90	80	95	90
利用数	244	211	231	228	226	218	217	197	211	207	176	246	2612

※代替サービス利用含む

(2) 学年別構成 (人)

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
男	7	3	6	3	3	0
女	1	0	0	2	1	1
計	8	3	6	5	4	1

(3) 療育手帳別構成 (人)

療育手帳		B2	B1	A2	A1	④
	男	1	5	0	7	8
	女	0	0	0	3	2
	計	1	5	0	10	10

(4) 個別サポート加算対象者 (人)

	該当あり	該当なし	計
男	10	12	22
女	1	4	5
計	11	16	27

3. 職員の状況と資質の向上

- ・ **新規採用職員** 常勤職員 6人
非常勤職員 13人 (「ふくろう」ヘルパー含む)
- ・ **処遇改善** 処遇改善特別加算 (特定処遇改善含む) により常勤換算1人あたり (A) 485,000円、(B) 477,000円の一時金を支給しました。
また、ベースアップ手当 月平均約9,000円支給しました。

- ・ **資格**
3月31日現在の資格取得状況 (含非常勤職員)

社会福祉士	7人
准看護師	3人
介護福祉士	8人
保育士	12人
PT	2人
ST	1人
精神保健福祉士	2人

- ・ **研修 (OJT)**
昨年度の実践を踏まえ、「階層別研修」を充実させました。
キャリアアップの役割を果たすとともに、法人の一体感を醸成する機会にもなり、今後とも継続していく必要性を感じました。
また、各事業所での研修も計画的に実施されました。

(Off JT) コロナ禍でオンラインが主でしたが、次のような外部研修に参加しました。

- ・「障害者虐待防止．権利擁護管理者研修」・「障害者虐待防止．権利擁護マネージャー研修」・「強度行動障害支援者養成研修（基礎）（実践）」・「相談支援従事者研修」・社会福祉施設における食中毒・感染症対策研修会

・市、他団体への職員派遣

派遣先	人数
市 自立支援協議会委員	1人
習志野圏域障害者グループホーム等 連絡協議会委員	1人
手をつなぐ親の会サポーター（広報）	1人

4. 施設整備等（主なもの）

- ・ケアホーム朋 建築
- ・あごら増築
- ・友愛みどり園 送迎用バス購入
- ・友愛みどり園 耕運機購入
- ・ケアホーム エアコン及び厨房設備が老朽化により順次交換

5. 権利擁護・虐待防止

- ・月一回権利擁護・虐待防止委員会を開催、検討
- ・日常のミーティング等で「市民として」の利用者の権利をどのように保障していくか、という検討を行ない、また毎月の職員会議で「ひやりはっと」という視点から「安全」について検討してきました。
- ・「障害者虐待防止．権利擁護マネージャー研修」受講者がその内容を全職員に伝達するようにしました。
- ・「虐待の疑い」という位置づけではないものの、利用者のアザや傷のチェックとその原因の究明を徹底しました。

6. 地域貢献活動

「今後の社会福祉法人」に求められる役割ですが、次のような活動を行いました。
ただ、これも「コロナ」の影響で制限ができました。

- ・市の「里親制度」での環境美化活動
- ・公園清掃ボランティア

- ・専門学校、大学生実習受入れ
- ・特別支援学校生徒実習受入れ

7. 法人運営（理事会・評議員会等）

- ・理事会、評議員会

評議員会			理事会		
回	開催日	内 容	回	開催日	内 容
			1	5/23	<ul style="list-style-type: none"> ・2021 年度事業及び会計報告について ・2022 年度第 1 次補正予算について ・定款変更について ・定時評議員会開催について
1	6/11	<ul style="list-style-type: none"> ・2021 年度事業及び会計報告の承認について ・定款変更について 			
			2	9/18	<ul style="list-style-type: none"> ・職員給与規程改正について (書面)
			3	2023 年 3/23	<ul style="list-style-type: none"> ・2023 年度事業計画及び予算について ・就業規則改正について ・新規事業居宅介護（通院等介助）の開設について

- ・指導監査（法人）、
ありませんでした。